

熟塾再発見講座：大阪ガラス発祥の地・天満宮の門前で出会う岡本覚氏のガラスの世界

ガラスアーティスト・岡本覚氏の 無限の可能性を發揮する不思議なガラスの世界

講師：大阪府立大学客員研究員・大阪工業大学客員教授
ガラスアーティスト 岡本覚氏



日時：2014年6月28日(土曜日)

午後2時：大阪天満宮“大阪ガラス発祥の地”の碑前集合！

午後2時20分～5時：てんいちゆうゆうホールで作品映像を見ながらの講演

会場：てんいち ゆうゆうホール・大阪市北区天神橋1丁目18-11

最寄り駅：地下鉄 南森町駅（出口：4-B）またはJR東西線 大阪天満宮駅（出口： ）から、天神橋筋商店街を南へしばらく進み天満宮前に繋がる道を右手奥。徒歩約3分。

会費：一般1500円・塾生1000円・学生500円 先着申込：30名様

ガラスのような心は、嘘？！ ガラスは石より強く、華麗で神秘で多彩な姿を持っていた！！

天満宮門前に“大阪ガラス発祥の地”の碑があるのをご存知ですか？

今回の会場は、天満宮門前のゆうゆうホール、そして講師は、その天満宮に居を構え活躍する大阪生まれのガラスアーティストの岡本覚氏です。

幼い頃、自宅向かいの硝子屋さんが一番お気に入りの遊び場で輝くガラスの色彩に心奪われ、近所の鍛冶屋さんや大工さんなど職人さんたちが物を作る現場を見上げては心躍らせていた熱い思いが、岡本覚氏をガラスアーティストへの扉を開かせました。



岡本覚氏は、1978年にオハイオドミニカンカレッジで学んだアメリカ流のステンドグラスを紹介すべくディストリビューター及び創作作家としてクールステンドグラスを設立したのを皮切りに、箱根彫刻の森美術館のオブジェ“妖精たちのチャペル”、大阪中之島公園・剣先噴水シンボルモニュメント帆（ふね）から、イタリア料理の名店ボンテベッキオ北浜本店の～ガラス小品による空間表現～、更には廃棄され埋め立てられるウインの瓶などを再びガラス作品として復活させる大和郡山市環境対策活性化プロジェクトなど、様々な場所で多くの人々とのコラボによりガラスアートを創り上げてきました



同時にガラスの新しい表情を求めて、「硝子用紫外線硬化型樹脂開発」、はんだ・鉛を使用しないステンドグラス開発の為の「光学装飾体の製法とその装置」、「人工岩礁とその製造方法」、「多孔質ガラス成形体とその製造方法」、「ガラス書」（ガラス面上に墨書出来るように墨用液開発）の特許出願/取得し、板硝子とガスケット一体型成形開発つまりサッシの無いガラス窓製作の為の実用新案を取得しました。

更に、界面結晶化硝子ビードパール開発、地中に含まれる有害物質の硝子固化技術開発、マイナスイオン発生ガラス開発、バレットガラス開発（ガラス表面が物理的に割れた状態の加工方法）、タコベール開発（たこ焼きの鍋を使ったガラス饅頭のような点字歩行ブロック）、廃蛍光管リサイクルガラス開発など、次々にガラスアートの新しい表現材料としてガラスの可能性に挑戦し続けています。

大阪ガラス発祥の地・天満宮門前のゆうゆうホールで、ガラスの基礎知識や歴史から、永遠の少年のように目を輝かせながら活動しているガラスアーティスト岡本覚氏の無限の可能性を發揮するガラスの世界を探索し、知っているつもりガラスについて再発見してみましょう。
【協力：株式会社天満大阪昆布】

ガラスアーティスト・岡本覚氏の無限の可能性を發揮する不思議なガラスの世界参加申込書

大阪から情報を発信する文化活動グループ 熟塾・FAX：06-6281-8406

電話：090-8381-0150

お名前

ご住所

〒

TEL NO

E-mail

熟塾ホームページ <http://www.jukujuku.gr.jp/> (BXI05250@nifty.com) からもお申し込みいただけます。